

13. 平成 24 年度客員研究員等

客員研究員氏名	所属機関及び役職	客員研究内容
勅使川原正臣	名古屋大学 大学院環境学研究科 教授	建築構造計算の一層の適正化に資する工学的判断基準の明確化に関する研究（個別重点）
楠 浩一	横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授	建築構造計算の一層の適正化に資する工学的判断基準の明確化に関する研究（個別重点）
倉本 洋	大阪大学 大学院工学研究科 教授	建築構造計算の一層の適正化に資する工学的判断基準の明確化に関する研究（個別重点）
平石久廣	明治大学 理工学部建築学科 教授	建築構造計算の一層の適正化に資する工学的判断基準の明確化に関する研究（個別重点）
岡田 恒	財団法人日本住宅・木材技術センター 試験研究所 所長	建築構造計算の一層の適正化に資する工学的判断基準の明確化に関する研究（個別重点）
田村幸雄	東京工芸大学 工学部建築学科 教授	屋根ふき材等の風圧に対する構造計算の明確化に資する検討（基盤研究）
河合直人	工学院大学 建築学部 教授	木材利用促進のための中層・大規模木造建築物の設計・評価法の開発（個別重点）
五十田博	信州大学 工学部 教授	木材利用促進のための中層・大規模木造建築物の設計・評価法の開発（個別重点）
緑川光正	北海道大学 大学院工学研究院 教授	長周期地震動に対する超高層建築物等の応答評価技術の高度化（個別重点）
清水康利	TOTO（株） ESG推進部 次長兼研究主幹	建築物の超節水型衛生設備システムにおける技術的課題の克服に関する研究（個別重点）
竹崎義則	TOTO（株）総合研究所 素材研究部 首席研究員	建築物の超節水型衛生設備システムにおける技術的課題の克服に関する研究（個別重点）
河野 守	東京理科大学工学部第二部建築学科 教授	緊急性が高い既存不適格建築物の火災安全性向上技術の開発（個別重点）
長谷川拓哉	北海道大学 大学院工学研究科空間性能システム専攻空間システム部門 准教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発（個別重点）
本橋健司	芝浦工業大学 工学部建築工学科 教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発（個別重点） アスベスト含有成形板の改修工法に係る経年後の性能検証（基盤研究）
杉山 央	宇都宮大学 大学院工学研究科 教授	建築材料・部材の物理的耐用年数と資源循環性に関する評価技術の開発（個別重点）
大久保孝昭	広島大学 大学院工学研究院社会環境空間部門 教授	建築物の技術基準への適合確認における電子申請等の技術に関する研究（個別重点）
内田 晃	北九州市立大学 都市政策研究所 准教授	アジアの蒸暑地域に対応した低炭素型戸建て住宅設計技術に関する研究（個別重点）
糸井川栄一	筑波大学 大学院システム情報系 教授	被災地の社会経済状況を踏まえた応急・復興住宅の需給構造に関する研究（基盤研究）
寺木彰浩	千葉工業大学 工学部建築都市環境学科 教授	高齢者等の安定した地域居住に資するまちづくり手法の研究（個別重点）
菅野俊介	広島大学 名誉教授	開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）

八木勇治	筑波大学 大学院生命環境科学研究科 准教授	開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※井上 公	(独)防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域災害リスク研究ユニット 総括主任研究員	国際地震工学研修 開発途上国における地震災害リスクの研究
※箕輪親宏	元(独)防災科学技術研究所 防災システム研究センター シニアエキスパート防災システム研究センター 研究参事	国際地震工学研修 振動台を用いた耐震工学に関する研究
※都司嘉宣	東京大学 地震研究所 准教授	国際地震工学研修 開発途上国の地震・津波に係る減災技術の高度化と研修の充実に資する研究（基盤研究）
※齊藤大樹	豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 教授	国際地震工学研修 長周期地震動に対する超高層建築物等の応答評価技術の高度化（個別重点）
根津浩一郎	日本環境技研(株) 首席コーディネーター	省CO2建築物に関する調査研究に付随する業務

注) 所属機関及び役職は客員研究員委嘱時のもの
氏名の前に※印がある者は、特別客員研究員